



「三番叟ーさんばそうー」

熱い思いで受け継がれる伝統  
天下太平と五穀豊穰を祈願し、優雅に舞う

大府市横根町惣作に所在する横根藤井神社で毎年10月の第2日曜日に行われる祭礼。この祭礼では、子どもたちが優雅に舞い、世の中の安穩と豊作を願う「三番叟」と石丸・中・南の各組が先祖代々大切に守ってきた山車が奉納されます。いずれも江戸時代から伝わるもので三番叟は大府市

無形民俗文化財に、山車は大府市有形民俗文化財に指定されています。山車は、高さ約6メートル・幅約3メートル・奥行き約4メートルで、手の込んだ彫刻や金箔で装飾されています。

豊穰に感謝し舞う

祭礼の目玉「三番叟」。各組から選ばれた子どもたちが、山車の前に設置された舞台で、3人で演じる「式三番叟」、1人で演じる「三番叟」を華麗に舞います。その所作、身のこなしは、各組において大人から子どもへ脈々と受け継がれています。



横根藤井神社祭礼